

MRI装置 計画停電時の対応について

停止方法（電源オフ）に関する内容

予め停電することが判明している場合は予定時間より余裕をもって、本装置の全ての電源をオフにしてください。

- 1、 停電開始 10 分前程度をめどに検査を終了してください。
- 2、 画像転送、保存等全ての作業が完了していることをご確認ください。
- 3、 アプリケーションを終了し、ホストコンピュータの **Shutdown** を実施してください。
- 4、 機械室内のブレーカー操作によって装置電源を実施 してください。

起動方法（電源オン）に関する内容

停電復旧直後は機械室エアコンの動作、装置室外機（チラー）の動作をご確認ください。機械室、検査室の空調が稼働し、規定温度になるのを待ってから本装置の電源を投入してください。特にグラジエントアンプ、RF アンプは高出力のトランジスタを多数使用しております。このため機械室の温度が規定温度にくらべ極端に高い（低い）ことで電源投入時に大きな負荷がかかることで故障の原因となることが予想されます。

起動後に、本装置の動作確認及び冷凍機コンプレッサーの動作をご確認ください。冷凍機の長期間の停止はヘリウム消費量の増加を招きます。

停止、起動方法の手順詳細につきましては各モデルの取扱説明書をご確認ください。

尚、ご不明な点は弊社カスタマーコールセンター(0120-556-494 / 03-3740-3213)までご連絡ください。